

警察庁によりますと、ツイッターやLINEなどソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を使った少女らが、ネット上で知り合った男性と実際に会い、性犯罪などの被害を受けるケースが増加しています。

2014年

上半期、出会い系サイトにアクセスして児童買春などの犯罪被害に遭った18歳未満の子どもは698人、更に被害者の93%にあたる649人がスマートフォンなど携帯電話を利用

していました。

ネット上にはウソを書く人も多く、相手がどんな人か分かりません。ウソを見抜くことは難しいことです。被害に遭わないためにも①出会い

危険が潜む出会い系サイト

系サイトは見ない、アクセスしない②ネット上に自分の個人情報を書き込んだり、写真を送ったりしない③ネット上で知り合った人とは絶対に会わない——ことで

防犯一口メモ